

# 4企業と災害時協力協定



上 協力協定を締結した四つの事業所の代表と浅井市長が固く握手を交わしました  
右 協定書に調印する浅井市長

市は、災害時に円滑な物資の供給について必要な事項を定めた「災害時における協力の関係する協定」を市内に事業所のある四つの企業などと結び、「防災とボランティアの日」の1月17日、市役所本庁で締結式が行われました。

夫理事、イオンスーパーセンター(株)の岡崎双一代表取締役社長、(株)マイカルの藤嶋仁東北営業部長が協定書に調印した後、浅井市長が協定書に調印した。その後、今後の協力を誓って5者が固く握手しました。

市は大規模災害発生時に住民の安全を確保するため、姉妹都市や友好都市、県内市町村、岩手宮城県市町などとの間で災害時応援協定を結んでいるほか、医師会、郵便局、かんぽの宿一関建設業協会一関支部、高圧ガス保安協会一関支部と協力協定を結んでいます。民間物販店との協力協定の締結は、今回が初めてとなります。

し、大規模化、広域化してきている。このたびの協定は誠に意義深く、災害発生時の住民への生活物資や食料の迅速な配給の備えとして大変心強い」とあいさつしました。

協定は、地域防災計画に基づき、災害発生時に市民生活の早期安定を図るための円滑な物資の供給について、必要事項を定めることが目的。地震や風水害などの災害発生などにより市が物資を調達する必要がある場合に、事業者が▽食料品▽衣料品▽日用品などの物資を災害発生直前の価格を基準に提供。そのほか、▽市の施設を物資集積場所などとして事業所に提供▽事業所が所有または管理する施設を避難場所として市に提供▽市と事業所が連絡員を派遣し合うなどの事項が定められています。

## スポーツ講演会

### 瀬古さん「子どもは褒めて」

市などが主催するスポーツ講演会は1月26日、一関文化センターで行われ、元男子マラソン五輪日本代表でエスビー食品スポーツ推進局長の瀬古利彦さんが、「心で走る」の演題でユーモアたっぷりに講演しました。

毎年「瀬古杯」マラソン大会が開かれてはいる本市には、何度も訪れています。

ロサンゼルス、ソウルの2度の五輪に出場し、メダル候補といわれながらメダルを逃した経験から「五輪のメダルには、『運』、プレッシャーに負けない『鈍』、根気、根性の『根』の三つが必要」「家に帰ってから、『お父さんは世界一』と家族にももらった金メダルはうれしかった。思いを言葉で表現することはとても大切なこと。子どもはほとんど褒めて育てて」と聴衆に語り掛けました。



ユーモアあふれる語り口で聴衆を魅了した瀬古さん

## 大東高商研部

### 若い力の挑戦に輝く栄誉



晴れの受賞に笑顔の商業研究部の皆さん

大東高校商業研究部は、起業教育の一環として東北経済産業局が主催した本年度「スクール発明王コンテスト」で、大賞に次ぐ特別賞を受賞しました。

市の「若者が主役の地域おこし事業」の補助を受け、同部が企画、運営の中心となって昨年7月に行われた「いちのせき高校生チャレンジフェスタ2007」について、顧客満足度に注目し、行政や産業界、マスコミなどの連携を重視した点、市内の

高校から幅広くスタッフを募集して取り組んだ点が高く評価されたものです。

表彰は1月25日、仙台市での「起業教育・キャリア教育シンポジウム」の席上行われ、佐藤和泉さん(2年)ら3人の部員による同フェスタの取り組みの成果についての発表も併せて行われました。佐藤さんは皆さんの支えでこのような賞をいただきうれしいです。まだ未熟な点もあるので、前回のフェスタで学んだことを生かし、次回はいさらにレベルアップを目指します」と語ってくれました。



気づきから始まる  
男女共同参画

参画  
トーク  
No. 5

市内で、男女共同参画推進活動を積極的に展開している団体を紹介します。

### 千厩地域男女共同参画推進クラブ

千厩地域男女共同参画推進クラブは、旧千厩町の町民大学「男女共同参画コース」で学んだ人を中心に、男女共同参画に興味や関心を持った21人で構成されている団体です。



家族経営協定をテーマにした寸劇『おうちも何かやってみよう』

男女共同参画意識の浸透を図るため、よりわかりやすく理解してもらえよう「寸劇」を中心とした推進活動を行っています。

女性の社会進出、嫁の立場など身近な話題を取り上げた寸劇は「内容がよくわかり勉強になった」「いいところをとらえてくれた」と観客の皆さんから好評を博しています。

寸劇の脚本も5作目となり、19年度は市内でのチャリティーショーをはじめ、県主催の男女共同参画フェスティバルに参加しました。二戸市や軽米町など他市町村との交流上演も実施するなど、活動の場は年々広がっています。まずは「自分たちができることから」との思いで、協力し合いながら活動していきます。

問い合わせ先  
本庁企画調整課  
男女共同参画推進係

## スキー

### 大回転で3選手が国体へ

一関市スキー協会関係者は1月28日、2月19日から長野県で行われる国体スキー競技会への茂庭詩織さん(日本女子体育大1年・成年女子A大回転)、三浦千晴さん(市スキー協会・成年男子B同)、三浦孝純さん(同)の出場を浅井市長に報告しました。

選手代表として訪れた三浦孝純さんは「茂庭、三浦千晴は入賞が目標、わたしは来年の出走順確保のため少しでも上位を目指したい」と抱負を述べました。



国体での健闘を誓った三浦孝純選手(左から二人目)

## 囲碁

### 「ヒカルの碁」から全国へ



浅井市長に全国大会出場を報告した佐藤君(右)と県大会第3位受賞を報告した南小4年の木村和紀君(左)

佐藤祐杜君(赤荻小4年)は、県少年少女囲碁大会小学生の部で見事優勝、8月に東京で行われる全国少年少女囲碁大会出場を決め、1月31日、市役所に浅井市長を訪れ出場を報告しました。

佐藤君は、日本棋院一関支部が主催する「ヒカルの碁スクール」に通い、現在4段。「相手の一歩先を考えて打つのが囲碁の面白さ。これからさらに力を付け、全国大会ではまず1回戦を突破したい」と抱負を語りました。